

# 第53回 全国民主主義教育研究会全国大会のご案内

大会テーマ：若者が社会とつながる主権者教育  
—エンパワーメント・ギャップを乗り越えて—

全民研は、中高生が「社会とつながる」ことをコンセプトとする探究学習の本を出版しました。問いを立て、課題探究のための情報をどのように収集し整理・分析するか、学んだことをクラスメイトと共有し深め合うにはどうしたらよいか、社会に向けて発信するかがテーマとなっています。

今、日本には「飢え死」にする子どもはいませんが、夕食がとても貧しい内容の子どもたちがいます。また、子どもの学力と親の所得には強い相関関係が見られます。日本社会をこのまま社会的格差が拡大していく国にしていいのでしょうか。

ロシアのウクライナ侵略戦争の本質はどこにあるのかを問い、どう教えるのかが喫緊の課題です。内外の社会的な諸問題に私たち自身が強く関心を持ち、学び、社会とつながる主権者教育を考えていきましょう。

## 1. 期日 2023年7月29日(土) 7月30日(日)

## 2. 会場 東京労働会館（ラパスホール&地下会議室） オンライン(Zoom)併用

- ・第2、第3、第4分科会は、Zoom を利用し個別オンライン方式で行います。会場参加の場合、パソコンまたはタブレット端末およびイヤホンをご持参ください。あらかじめZoomアプリをインストールしておいてください。
- ・会場参加の場合、全体会（講演ほか）および第1、第5分科会はパソコン等なしで参加できます。

## 3. 日程

### 7月29日(土)

9:40~10:25    10:30~12:30    13:30~16:30    16:35~17:00    17:30~

開会 会長挨拶 基調報告	全体会 記念講演 阿部 彩 (東京都立大学)	分科会 第1分科会(民主・自治) 第2分科会(憲法・平和) 第3分科会(学力・授業)	全国委員会	交流会 自由参加 (別会場にて)
--------------------	------------------------------	---	-------	------------------------

- ・会場の受付、ZOOM入室ともに9:30からです。
- ・分科会は第1、第2、第3から選択してください。

### 7月30日(日)

9:40~10:20    10:30~12:30    13:30~16:30    16:35~17:00

会員総会	全体会 特別講演 高橋 悠太 (KNOW NUKES TOKYO 代表)	分科会 第4分科会(SDGs) 第5分科会(課題・経済)	閉会集会
------	---	------------------------------------	------

- ・会場の受付、ZOOM入室ともに9:30からです。
- ・分科会は第4、第5から選択して下さい。

#### 4. 基調報告 今 陽童 本研究会常任委員（法政大学中学高等学校）

#### 5. 記念講演「若者・子どもにどうやって『貧困』をつたえるか」

阿部 彩（東京都立大学教授） ＊講演は東京労働会館ラパスホール

日本における貧困・格差、社会的排除の測定とそれに対する政策評価、子どもの貧困の現状を研究されています。

#### 6. 特別報告「私たちの社会は私たちの手で作っていこう ～軍事力による抑止力に頼らない平和の作り方～」

高橋悠太（KNOW NUKES TOKYO 代表） ＊報告はオンライン

KNOW NUKES TOKYO は、2021年広島と長崎から上京した大学生が東京で核兵器禁止運動を行うために結成した団体。「核なき世界」、「1人ひとりの尊厳の実現」をめざす。

### 7. 分科会

---

#### 第1分科会 民主主義思想と自治活動…………… 7月29日

新指導要領による『公共』の授業が始まり、高校には「公共」を教えたいという教育実習生がやってきます。しかし、社会科教育法・教職課程を担当する大学教員の方々もその輪郭ははっきりせず、その学習内容、その指導方法も説明することは易しくないのではと推測します。本年は、第1分科会のスタンス（民主主義と自治活動）から社会科の新科目『公共』の内容と方法、さらに広く初等・中等教育の社会科の教科構造などを探求していきます。

1. 『『ふつうの高校』の『倫理』における『哲学（的）対話』授業実践』（神奈川 元高校）
2. 「新科目『公共』に求められる主権者教育とは？」（京都 中高）
3. 「社会科教育は何にフォーカスしてきたのか？～「民主主義教育」の現在地を考える～」（東京 中高）

#### 第2分科会 憲法と平和…………… 7月29日

日本国憲法ができて77年、憲法の基本原則が脅かされそうな日本社会の現状の中で、憲法をしっかり学び、平和な社会を構築する主権者を育てることが社会科教育の課題としてより重要になってきました。本分科会では、1. デジタル化が進んだ社会の中で、メディアや SNS との向き合い方を考えるだけでなく、民主主義を広げるツールとする可能性を考える高校の授業の報告があります。そして、2. 「表現の自由」をどう教えるかをテーマに、生徒の見方・考え方を育むための授業について高校の実践報告を通して考えます。また、ミニ報告として、3. 公立中学校3年生の憲法の授業プランを振り返り、生徒がどんな力を身につけたのか、どんな社会をつくりたいと考えたのかなどを取り上げ、参加者と意見交流をしたいと考えています。

1. 「デジタル社会と民主主義」（神奈川 高校）
2. 『『表現の自由をどう教えるか』』（埼玉 高校）
3. 「憲法の授業プラン」（東京 中学）

### 第3分科会 社会科の学力と授業づくり……………7月29日

私たちは「主権者教育」として、社会の現実課題を取り上げ、生徒自らが取り組み、深く分析・考察して、現実社会の変革にかかわる力を育てる教育を目指してきました。「公共」が始まって探究的学習が広がりつつある中で参加者が授業ノウハウをも体験しながら、授業のあるべき姿についてじっくり語り合っていきたいと思います。

1. 「少女は『はた』を『らく』にできるのか？」(岡山 中高)
2. 「核軍縮—核軍縮を呼びかける手紙」(東京・高校)
3. 「公共こんなことやってみた・やってみるカタログ！ ファクトチェックから倫理と話し合い技法の両立まで」(東京・高校)

### 第4分科会 SDGs…………… 7月30日

今年のテーマ ロシアのウクライナ侵攻から考える「平和と公正をすべての人に (SDGs) 16」に関わる課題の授業づくり

当日午前中の高橋悠太さん (KNOW NUKES TOKYO 代表) の報告、「私たちの社会は私たちの手で作っていく～軍事力による抑止力に頼らない平和の作り方～」を受けて行います。最初に本年度の主旨を杉浦が短く報告します。その後、3つの分散会に ZOOM でわかれ、ワークショップ形式、授業を参加者で創ってみます。1. ウクライナに平和を (生徒の疑問に答える、停戦実現への課題整理)、2. ウクライナ難民、日本の難民政策 (入管法の問題含む)、3. 核抑止力、武力による抑止論の批判の授業を考えます。そこでは分散会ファシリテーター教員から授業にかかわる資料、授業方法のヒントが提示されます。再び全体会に戻り、3つの分散会の到達点が報告されます。\*各分散会報告&議論を ZOOM 上で展開します。

### 第5分科会 現代社会の課題と経済…………… 7月30日

本分科会は今夏の大会から新設されました。私たちは、いま、取り上げるべき「社会の課題」や「経済の課題」を議論し、解決の糸口を見つけようと考えました。報告は、1. B型肝炎は、社会問題になっているにも関わらず、これまで実践は行われて来ませんでした。弁護士の報告を受けて授業化の視点を話します。2. 誰にでも、「理想と現実」のギャップに悩んだ新任教員時代があったはずですが。40代で教職に就いた報告者の苦悩に共感しつつ、克服方法を話します。3. 伊方原発訴訟、柏崎刈羽訴訟をはじめ数多くの原発裁判が起こされました。今年の3月には東電集団訴訟の2審判決が出ました。報告を手掛かりに原発裁判を考えます。

1. 「B型肝炎の授業化の視点」(大阪・弁護士)
2. 「40代で教職に就いて」(北海道・高校)
3. 「原発をめぐる裁判について考える」(埼玉・大学)

## 8. 参加申し込み 7月23日までをお願いします。その後は可能な限りでの対応となります。

### ◆申し込み方法

参加申込はGoogleフォームへの記入によって受け付けます。  
下記URL、または右のQRコードからアクセスしてご記入ください。  
全民研ウェブサイトからもアクセスできます（[大会のページ](#)）。  
MLメンバーの方は、ML上の案内メールからアクセスできます。  
クレジット決済と連動しておりません。申込後に支払いをしてください。



<https://forms.gle/sjDSJuRdpNpWDZJV8>

申込みの記入事項(下線部はオプションボタンです)

メールアドレス／氏名／職種等／所属等／会員・読者・どちらでもない／参加形態／参加予定日  
／参加費支払い方法／参加予定分科会／連絡事項

◆参加費 全日程(2日間):3000円 1日のみ:1500円 学生・院生:1000円

### ◆注意事項

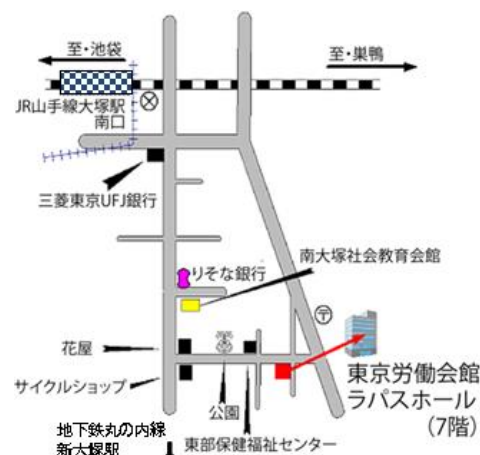
- ・第2、第3、第4分科会に、会場に参加する場合は、パソコン等とイヤホンをご持参ください。
- ・第1、第5分科会は、パソコンなしで会場参加可能です。全体会も同様です。
- ・諸注意、資料フォルダおよびZOOMの入室URLは、7月26日までにメールでお知らせします
- ・参加費は、全民研ウェブサイト <http://demokurashi.web.fc2.com/> からクレジット決済ができます。トップページの左、「研究会や本の販売サイトはこちらから」をクリックしてください。郵送されるものではありませんが、「送付先」欄には、ご住所と郵便番号をお書きください。または郵便振替でお支払いください。通信欄に「大会参加費」とお書きください。

00120-1-97883 加入者名 全国民主主義教育研究会

- ・振込料・クレジット手数料のご負担をお願いします。
- ・会場は、JR大塚および地下鉄新大塚より徒歩5分です。
- ・コロナの感染状況などを見て、参加形態を変更する場合は、再度申込みフォームに記入し、最後の欄に「変更しました」と明記してください。

### ◆申込みに関する問い合わせ先

菅晴子（常任委員） [kan\\_h@jcom.home.ne.jp](mailto:kan_h@jcom.home.ne.jp)



## 9. 大会に関する問い合わせ

山崎裕康（事務局次長・大会担当）メルアド [yamaza@mva.biglobe.ne.jp](mailto:yamaza@mva.biglobe.ne.jp)

勤務先 東京都立駒場高等学校（社会科）